

# 河道内樹木伐採の実施について

---

平成30年12月25日



国土を**整**え、全力で**備**える  
国土交通省  
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism  
Chugoku Regional Development Bureau

## 重要インフラの緊急点検の概要

土強靱化  
ATIONAL RESILIENCE

### 緊急点検の背景・目的

- 平成30年7月豪雨、平成30年台風第21号、平成30年北海道胆振東部地震等により、これまで経験したことのない事象が起こり、重要インフラの機能に支障を来すなど、国民経済や国民生活に多大な影響が発生した。
- 直近の自然災害で、インフラの機能確保に関して問題点が明らかになった事象に対して、電力や空港など国民経済・生活を支え、国民の生命を守る重要インフラが、あらゆる災害に際して、その機能を発揮できるよう、全国で緊急点検を実施する。

### 緊急点検の対象とする重要インフラ

- 直近の自然災害で、問題点が明らかになり、国民経済・国民生活を守る、又は、人命を守るため、点検の緊急性が認められるものとして、以下の①～③を対象。
  - ①ブラックアウトのリスク・被害を極小化する必要がある電力供給に係る重要インフラ
  - ②電力喪失等を原因とする致命的な機能障害を回避する必要がある重要インフラ
  - ③自然災害時に人命を守るために機能を確保する必要がある重要インフラ

### 緊急点検の実施概要

- 11府省庁において、重要インフラの機能確保について、118項目の点検を実施。  
(内閣府、警察庁、金融庁、総務省、法務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省) ※点検の実施項目は、今後、追加もあり得る。
- 平成30年11月末を目途に、対応方策をとりまとめ。

(参考)「重要インフラの緊急点検に関する関係閣僚会議」における総理発言(平成30年9月21日)  
電力や空港など、私たちの生活を支える重要なインフラがあらゆる災害に対し、その機能を維持できるよう、全国で緊急に点検を行い、本年11月末を目途に対策を取りまとめます。

## 河川

## 全国河川における洪水時の危険性に関する緊急点検（河道等）

国土強靱化  
NATIONAL RESILIENCE

**概要**：平成30年7月豪雨を踏まえ、樹木繁茂・土砂堆積及び橋梁等による洪水氾濫の危険箇所等の緊急点検を行い、流下阻害や局所洗掘等によって、洪水氾濫による著しい被害が生ずる等の河川が存在することが判明したため、樹木伐採・掘削及び橋梁架替等の対応方策を実施する。

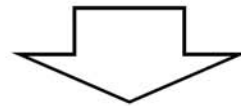
府省庁名：国土交通省

全国の一級河川：約14,000河川、二級河川：約7,000河川

点検を実施

### 氾濫発生危険度が特に高い区間

- ・近年浸水実績がある箇所又は、浸水想定区域の家屋数が一定以上ある箇所又は、重要施設がある箇所の存在が判明



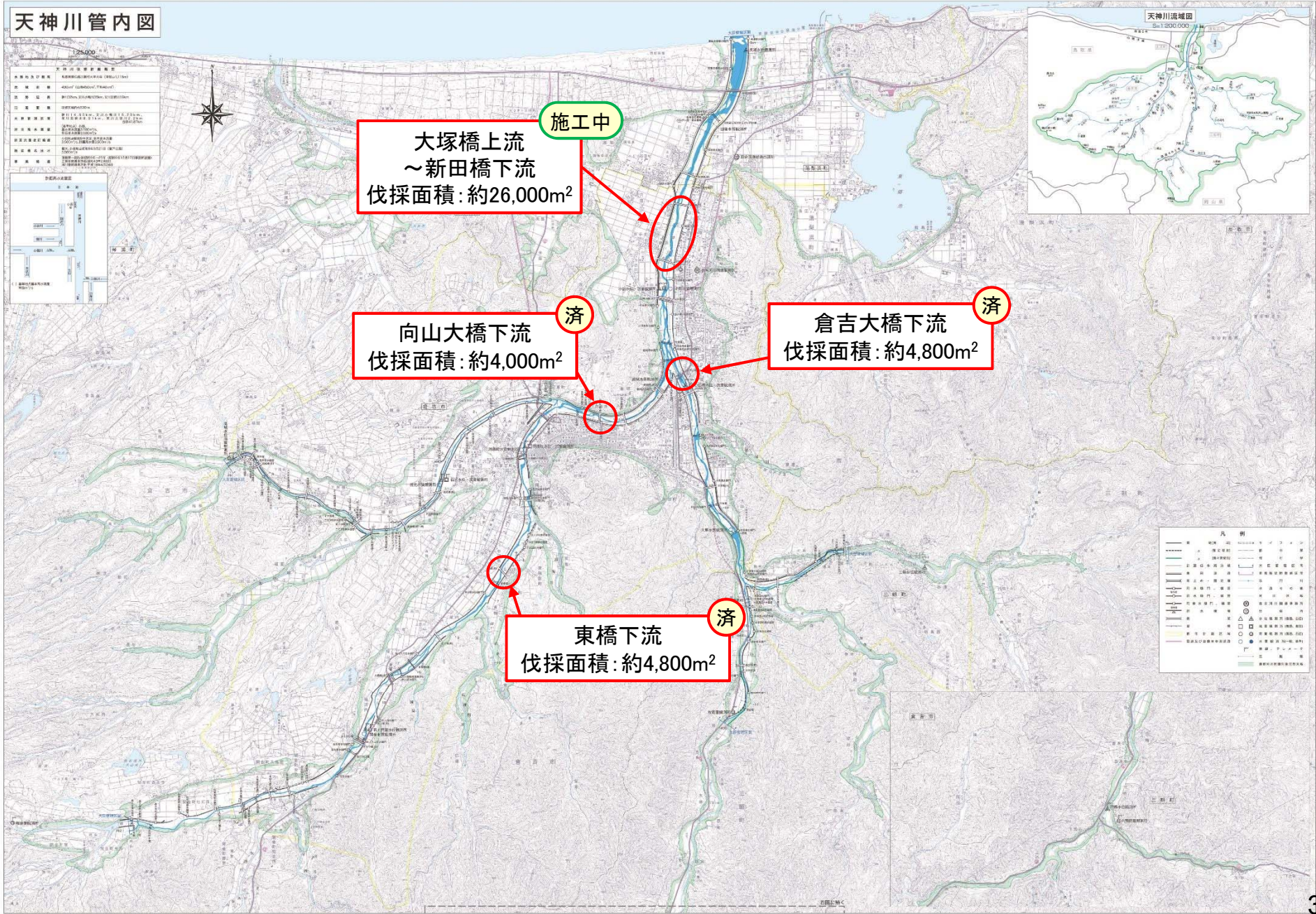
### 【対応方策】

近年の主要洪水等に対して氾濫を防止する樹木伐採・掘削等



樹木伐採の事例

# 河道内の樹木伐採箇所(平成30年12月現在)



# 天神川における河道内の樹木伐採箇所

天神川において河道内に繁茂した樹木の伐採を行っています。



# 小鴨川における河道内の樹木伐採箇所

小鴨川において河道内に繁茂した樹木の伐採を出水期までに行いました。

